

石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針（案）  
に対するパブリック・コメントの実施結果について

1 募集期間

平成21年12月10日（木）から平成21年12月25日（金）まで 16日間

2 意見等の受付結果

区 分	意見等提出者・団体数
個 人	5
団 体	1
合 計	6

3 募集結果

意見番号	1	提出者	49歳、男性
<b>意見の内容</b>			
<p>0歳から小学校6年生の人口分布で将来の児童数の把握ができれば、数字でエリアを1回決めて、その動向を知らせて地域の人に意見をもらう。そして、エリアの広い所より狭い所でも統廃合をすることを早急に知らせる。</p> <p>石小、住小、中里小、開北小、山下小で5校を4校に統廃合することによって、その後、門中、青葉中、蛇田中を含めて旧市内の再編を考える。</p> <p>旧町の広いエリアには、スクールバスで理解してもらい、各旧町に1校ずつ残すようにする。</p> <p>平成30年度には2割も児童が減るので、女子だけの市立高校が本当に必要なのかを考えて、市女校を門中とすることで石中と門中のエリアも分けやすくなると思います。</p> <p>定員割れの高校を作るよりも、県立に高校はまかせて競争原理を持ち込めば質の向上につながると思います。</p> <p>その予算の一部で開館時間の短い図書館から立町（アンテナショップ）の専修大学経営の店内に児童書などを置いて、親子で利用しやすくして、親に買い物や子供に宿題の指導で利用回数を多くすることができると思います。</p> <p>適正な競争があれば、生徒・教職員のレベルの向上ができると思うし、教育委員会の中に親と職員の意見を聞くところ（各学校で良い）を設けて、学校内のことを第三者に聞いてもらうようにする。その内容次第で、懲罰を含めて公表して、悪いことは悪いと知ってもらう。その人選に各学校の同窓会役員、同窓会OBの自選、各町内会からとして調整役に入ってもらう。</p> <p>ムダにお金が出ないようにして下さい。</p>			
<b>意見に対する教育委員会の考え方</b>			
<p>基本方針（案）に対する意見ではなく、具体の学校統廃手法及び学校統廃合例のほか教育行政に対する意見として受け止めさせていただきます。</p>			
<b>石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映</b>			
修正なし			

意見番号	2	提出者	53歳、女性
意見の内容			
<p>稲井小・中学校区の住民です。</p> <p>この地区は、中心が農地で周辺の山々の下に住宅が並んだ地形になっています。学校から遠い小学生は、スクールバスで通学しています。近年、土地区画整理事業が進み、稲井駅周辺に住宅密集地があつて、小・中学校生の大半がその地域と考えられます。学校までの距離も短く、児童は徒歩通学という利便性があります。</p> <p>しかし、もう一カ所、先日北部バイパスが開通して大型車両など交通量が多くなった地区に、現在土地区画整理事業中の場所があります。そこに土地も求めようと考えている小さいお子さんの居る家族の多くは、学校までの距離が遠いという意見でした。稲井小・中学校まで、9～10kmの距離があります。小学生はスクールバスで通学していますが、中学生は自転車通学です。</p> <p>農繁期は、用水路に水が沢山流れていて、自転車が用水路におちたり、強風時の真野川堤防通行等、危険な状況です。また、不審者の出没用に防犯ブザーを携帯していますが、農道から住宅までブザーの音は聞こえません。</p> <p>標準的の学校規模として、中学校は、6km以内の条件とされていますが、約倍近い距離を通学しています。学年3学級の目標にも満たない状況の中、中学生にもスクールバスを運行して頂けたならば、新築住宅も増えて、学年3学級も達成になるのではないかなと考えます。(もちろん、運行の仕方には、有料になることも検討しなければいけません...)</p> <p>また、折角の住宅地に住宅が無いというのは、地域の活性化からも考えると損なような感じがします。是非、中学生にもスクールバス運行をご検討下さい。お願い致します。</p> <p>学校の統合も一つの案なのかも知れませんが、稲井地区の面積が広く他の学区に統合となるとスクールバス等の運行は絶対条件かなと思います。</p> <p>稲井小・中学校区と似たような状況の学校は、何校かあるのではないのでしょうか。それぞれの地域の地形や住宅分布などを検証していただき、市が今検討している問題解決の参考にしていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>			
意見に対する教育委員会の考え方			
<p>基本方針(案)16ページ、6石巻市立小・中学校の適正配置、(1)適正配置の基本的な考え方、適正配置の基本 において、「統廃合により遠距離通学(小学校でおおむね4キロメートル以上、中学校でおおむね6キロメートル以上)となる児童生徒については、安全な通学が可能となる支援策を講ずる。」こととしておりますので、今後検討して参ります。</p>			
石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映			
修正なし			

意見番号	3	提出者	49歳、男性
意見の内容			
<p>石巻市北上町の小学校に勤務するものです。小・中学校が旧町に1校という方針のようですが、2～3疑問点があるのでコメントしたいと思います。</p> <p>〔保護者、地域住民が納得して基本方針を受け入れるために〕</p> <p>保護者にとって「適正規模・適正配置」というのは、何のことも分からない人が多いのではないのでしょうか。市教委から配られたプリントが学校の統廃合に関するものと受け止めた人は何人いるのでしょうか。例えば「北上町の小・中学校の統廃合について」またはもっと簡単に「北上町の小学校を一つにすることについて」のような呼びかけが必要だったのではないのでしょうか。各地で開かれた懇談会は、人数が少なく、低調だったと聞きます。これでは、地域住民の理解が得られないのではないのでしょうか。</p> <p>パブリック・コメントの募集期間が2週間不足だと聞きました。もっと期間を取り、新聞等でもっと宣伝する必要があったのではないのでしょうか。</p> <p>〔小学校の教員としての疑問〕</p> <p>学力向上のためには、30人学級の実現が重要だという声が多いと思います。統合するにしても、その人数を実現することを明記すべきだと思います。</p> <p>当地区は、川向かいの大川地区と近い距離にあります。旧町に1校となれば、大川地区の子どもたちは、遠い飯野川方面に通うことになるのでしょうか。旧町をまたぎ、距離で遠近で統合を考えることもあるのでしょうか。</p> <p>「 」とも関連がありますが、小学校の総合的な学習の時間は、自分の住む地域を題材にすることが多いと思います。例えば大川地区の児童が飯野川に通ったとして、飯野川で総合的な学習の時間の学習を展開するのは、無理があるのではないのでしょうか。</p> <p>結論としては、地域住民・保護者が十分に納得して統廃合を受け入れるようにするとともに、学校関係者からも話を聞き、地域の子どもたちが豊かな学校生活を送れるようにしていただきたいと思います。そのためには、十分な話し合いが必要であると思われます。先の懇談会では不十分ではないのでしょうか。</p>			
意見に対する教育委員会の考え方			
<p>本基本方針は、本市における教育環境を整備し、適切な学校配置を図るため、小・中学校の適正な学級数の基準設定、並びに統合・配置計画のあり方や取り組み方を明示するものとして策定するものです。</p> <p>適正配置の実現にあたっては、基本方針の適正規模を機械的に適用するのではなく、学校と地域社会のつながりの確保、児童生徒の通学手段と安全性の確保などのほか、教育課程の編成や学校行事、児童生徒の学校生活やPTA活動などの多岐にわたる事項について、地区住民、保護者、学校との協議を重ね、合意形成を図ったうえで、地域との合意や求めに応じた個別計画を立てて取り組むこととしております。</p>			
石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映			
修正なし			

意見番号	4	提出者	77歳、女性
意見の内容			
<p>学校の適正規模・配置に関するパブリック・コメントを募集する・・・と、石巻日日新聞を読んで初めて知り、大変びっくりしました。この件に関し、どれだけの市民が真剣に考えたのでしょうか。あまりにも早急すぎるのではないかと心配になりました。少子化問題については、遠からず地域の子どもたちが少なくなり、学校のことが話題になるのではないかと感じておりましたが、今回のような学校の適正規模・配置について緊急に提案されると、これでいいのかと戸惑うばかりです。</p> <p>私は旧河北町に住んでおります。昭和30年代の町村合併により、大谷地村から河北町になり、飯野川町が行政の中心になりました。そのことによって、私が住んでいた周辺が少なさびしくなりました。そして、平成の大合併により、へき地はますます住みにくくなりました。今では町の中心である役場に行っても職員の数が減り、閑散としています。また、職員も顔の知らない人ばかりで、温かさもなくなり、さびしい限りです。多くの方がこのように感じております。商店街もさびしくなりました。飲食店など、廃業したところもあります。</p> <p>その上、学校の適正規模・配置の提案では、旧町単位に少なくとも一つの小・中学校を存続させ、適正規模の標準は、小学校1学年2学級以上、中学校1学年3学級以上ということですが、果たしてこれでいいものかと不安になります。小規模校でのプラス面、マイナス面はいろいろあるでしょうが、町で子どもの姿をなかなか見られない、元気な子どもの声が聞かれないなど、考えただけでもさびしくなります。</p> <p>学校統廃合の問題は、単なる税配分で済まされることではありません。これからの街づくりに大いに関係してきます。若い人が子育てしながら住み続けられる街、孫と共に笑顔で暮らせる街となるように、真剣に地域の学校づくりを考える必要があります。地域づくりと関係ある大事な問題として、県教委・市教委は、すべての地域住民に学校づくりの提案を示して、時間をかけて理解してもらわなければなりません。また、同窓生に意見をお願いするなど、いろいろなやり方で知らせる努力をするべきです。</p> <p>旧河北町でも適正規模・配置についての説明会があったそうですが、十数人の参加と聞きました。これでは説明不足です。パブリック・コメント募集どころか、統廃合が提案されていることすら知らない市民がほとんどです。時間をかけて市民の声を聞き、将来禍根を残さないようなやり方で、少子化対策を進めてほしいと思います。</p> <p>今回のコメントは以上で終わりとしますが、機会がありましたら、小さな学校の良さをたくさん述べたいと思います。是非、市民とざっくばらんに話し合う会を設けて下さい。よろしくお願いいたします。</p>			
意見に対する教育委員会の考え方			
意見番号3と同じ考え方です。			
石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映			
修正なし			

意見番号	5	提出者	60歳、女性
意見の内容			
<p>(1)学校は地域とともに、地域も学校とともに発展する</p> <p>「石巻市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に「学校は、地域に支えられ、そして地域に育まれ発展してきました。また、教育だけでなく、地域の文化や伝統を継承する拠点としての役割を担ってきました。」とありますように、学校は、地域の実情にあった教育を行い、地域を発展・継承していく子どもたちを育てる場所でないといけないと思います。また、地域の方々も学校に関わりながら子育てを行い、地域の文化や伝統を伝え、地域を発展させてきたのだと思います。</p> <p>ですから、新しい地域を作るときに、学校は非常に大きな役割を果たしてきました。戦後、荒廃した日本を再建するために、町から離れた山の中や住む人が少ない小島にも分教場を作り、かなりの数で教育が行われました。それが、私が教員になるころには統廃合が進み、私が勤務した分校も廃校になりました。そこは山奥深い4級僻地校でしたから、小さい子どもたちは胸まで積もった深雪をかき分けて登校することもありました。町と地域の方々との廃校についての話し合いでは、スクールバスを準備することと、地域の土木工事なども行ってもらうということで合意・決着したようです。廃校から30年、その地区はお年寄りがほとんどの小さな小さな地区になってしまったと、地域を語る新聞のニュースで知りました。</p> <p>石巻管内でもいくつかの統廃合が続いたわけですが、その結果、地域はどう発展しているのでしょうか？ 廃墟となった校舎と敷地(国民の財産)が二束三文で競売にかけられ、お金持ちの財産となり、資材置き場や廃棄物処理場になっていないかと心配です。学校の統廃合は全国的なものであり、その結果は地域の過疎化を急速に進め、地域破壊につながったというのは暴論でしょうか？ また、学校が大きくなればなるほど地域の要求・願いが見えなくなり、地域を無視した学校運営が行われるような気がします。</p> <p>(2)地域が違えば学校も違う</p> <p>一昨年でしたか、「全国学力テストの結果、沖縄は下位…」の報道に対して、「沖縄は明治以来、本土に追い付け追い越せと、東京を目標に学力向上を目指してきたが、沖縄には沖縄の歴史があり、東京とは違う。子どもの学び方も違う。」とコメントした沖縄の先生の話が印象的でした。そして、「これからの学力にとって大事なことは、少ない共通知識理解のもとでの交渉能力であり、立場の違った人と共存共生していこうとする社会認識能力である。この観点からいえば、沖縄は間違いなく日本で一番国際的に通用する文化と教育的土壌を持っている。」と語りました。つまり、地域が違えば、教育のあり様も違うということです。地域密着型の学校作りが大切だということです。</p> <p>石巻市には、通勤が大変な半島から山沿いまで、条件の違った地域がたくさんあります。地域が違えば子育てに関する願いも違ってきますから、地域独自の願いを受けて、地域の特色を生かした学校づくりを推奨する必要があります。このような学校づくりは、きっと地域(郷土)の活性化につながり、石巻市全体が活気あふれることにつながるでしょう。地域密着型の学校づくりを大切にすれば、通学距離の関係(バス通学は問題が多い)からも学校規模が違ってくるのは当然です。それなのに、国や県の基準がこうだからと、画一的に統廃合を進めようとするのはどうということなのでしょうか？</p> <p>教育方針に学校規模による教育上の一般傾向が表にまとめてありましたが、規模が大きくなれば課題が少なくなるように錯覚しそうです。どう考えても、教育を充実させることと学校規模はあま</p>			

り関係ないように思われます。また、教職経験を振り返ってみても、クラス替えが可能だから「学ぶ意欲が高まる」とか、「指導法の工夫・改善が充実する」だとかは、「学校の適正規模・配置」とほとんど関係ありませんでした。一部の方の意見ではなく、もっともっとたくさんの方々の意見を参考にしてほしいと思います。

それでも統廃合を進めるのであれば、その旨を地域の方々にざっくばらんに説明して、地域の子どもたちが健やかに育っていける教育環境なのかどうかを、納得いくまで十分に話し合ってから決定すべきものです。この観点からすると、まだまだ話し合いは不十分です。前回の教育懇談会には参加者が非常に少なく、パブコメ募集の話も出なかったと聞いています。それが、新聞によってパブコメ募集について知らされ、しかも2週間程度で募集を締め切るというのは、あまりにも性急ではないでしょうか。市としては前々から基本方針を示していたのかもしれませんが、まだまだ地域の方々の話題にはなっていません。どうか、一部の人の思惑だけで統廃合を押し進めないようにお願いします。

### (3)今こそ先進諸国並みの教育を

基本方針の根幹でもある「均等な教育環境、教育条件を築く」ということは、教育の機会均等を保障し、地域の子どもたちの教育環境を良くすることにつながるのでしょうか？また、地域を活性化することにつながるのでしょうか？

かつて中国の子どもを担任したとき、中国のお母さんに「日本の小学校の先生はすべての教科を教えて、本当に大変ですね。中国では、音楽や体育、図工は別の先生が教えていますよ。それに、中国の生徒も親も先生を敬います。」と、言われたことがあります。教育環境、教育条件を築くのであれば、まずやっていただきたいことは、一学級当たりの人数を先進諸国並みに少なくすることです。次に、子どもの貧困を解決するために教育費の無償化を目指すことです。そして、中国の教育環境に負けないように、専科の先生を多くすることです。それから、教員評価制度や査定昇給などで先生方を競わせるのを止めること、勤務中に教材研究をする時間を確保すること等々…、教員の命を守るための環境づくりにも努力してほしいと思います。

小さな学校で実践されているきめ細やかな指導が大きな学校でも実現するのでなければ、統廃合によって遠距離を通学することになる少数の子どもたちの辛苦は、二重三重にひどいものになるでしょう。旧牡鹿町の中学校の統廃合にしても、寄磯の子どもたちの通学距離が一番長く、部活動などに満足できる参加ができるのか心配な面があります。大きな学校に統合された場合、小さな学校で伸び伸びと生活していた子どもたちが常に少数派に追いやられる…などの心配もあります。教育費が少々増えるかもしれませんが、すぐに行き来できる(地域を感じる事ができるオラホの)学校で丁寧に教えてもらえる教育環境を、どの地域の子どもたちにも保障すべきだと思います。

今回の基本方針は、教育予算をできるだけ少なくする方向に向かわせ、過疎化が進んでいる地域の子どもたちに特に負担をかける結果になるのではないかと懸念されます。子どもが少なくなった今こそ、これまでどおりの教育予算で、フィンランドやスウェーデンなど教育先進国並みの教育環境、教育条件を築く可能性が出てきました。石巻市教育委員会の皆さまには予算獲得に努力していただき、是非とも、石巻のどの地域の子どもたちも幸せになるような教育環境、教育条件を築いてほしいと思います。そして、日本の教育後進地域と言われないような教育ビジョンを示してほしいと思います。

意見に対する教育委員会の考え方

意見番号3と同じ考え方です。

石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映

修正なし

意見番号	6	提出者	団体
意見の内容			
<p>1 はじめに</p> <p>基本方針では、適正規模・配置について県の示す基準、小学校12学級以上・中学校9学級以上としていますが、適正規模・配置は行政(県・市)の適正規模・配置であって、必ずしも教育上の適正規模・配置ではありません。そもそも県の示す適正規模・配置については、県教育委員会で十分な議論、正式な決定がなされた基準なのでしょうか。</p> <p>国の構造改革路線で、今全国的に学校(小中校)の統廃合が進められています。自治体の統廃合が急速に進められ、いよいよ学校・保育所・病院などが統廃合の対象とされています。しかし、学校・保育所・病院等は人の命、将来に関わる重要な問題であるにもかかわらず、関係する住民や保護者・関係者の意見が十分聴取されず、一方的に進められているのが実態です。</p> <p>学校でいえば、少子化だからと言いますが、このまま少子化が進めば、さらに学校を減らすことになります。長い間保護者や地域の人々が守ってきた学校を、機械的に統廃合しても良いのでしょうか？また、将来に禍根を残すことにならないのでしょうか？</p> <p>学力世界一で話題のフィンランドでは、学校規模が平均、小学校150名、中学校70名と聞いています。また、現在国の1学級の基準は40名ですが、これを欧米の先進国並みに20名・30名にすれば学級数は増えますし、教職員も減らさなくてもすみます。教育予算についても、OECD加盟国中28番目と最低ラインですが、これも大幅に増額させ、家庭の負担を減らすことも可能です。</p> <p>教職員組合は、学校や子ども達に責任を持つ立場から、今回以下の意見を申し上げますのでよろしくご検討下さい。</p> <p>2 保護者・住民・教職員・関係者等の意見を十分に聞き、計画を拙速に進めないでください。</p> <p>小規模校では本当に教育効果が上がらないのでしょうか。</p> <p>P11、表5で学校規模による教育上の一般的傾向を示していますが、小規模化の課題が、9ポイント。大規模化の課題が3ポイントと大規模化が優れていることが示されています。しかし、40人で授業するのと、20名前後で授業するのでは明らかに後者の方が効果的ですし、また教師が子どもと関わる時間も決定的に違います。</p> <p>現在不登校の急増などに顕著に表れているように、子どもの発達上の課題は極めて多くなってきています。教職員が一人ひとりの子ども達にじっくり関わり指導していくことは、今特に求められています。小規模校であればこそ行き届いた教育ができます。</p> <p>住民や保護者、教職員の願いに応えた教育行政をぜひお願いしたい。</p> <p>国や県の教育行政をそのまま適用するのではなく、地域住民や保護者、教職員の願いに応えた行政をぜひお願いしたい。</p> <p>国や県の制度は固定的なものではありません。将来的に見直しされることは十分あり得ます。学級規模40人もいずれ先進国並みに改善されるでしょう、教育予算も当然変わるはずですし、変えなければなりません。子どもの教育に予算をかけないでどこにかけるといのでしょうか。戦前、長野県の寒村である村では、村財政が厳しい中、村の全予算の60%を教育予算にかけていたと言われていました。また、山村が集中する中、集落ごとに学校や分校が設置されていたと聞いています。「人づくり」を軽視する行政では未来も明るくなりません。</p> <p>保護者・地域住民・関係者の意見を十分に聞き拙速に進めないでください。</p>			



各地区で開催された事前の懇談会は、各会場15～20名と極めて少数で、議論は深まっているとは思えません。当日配布された懇談会資料になかったパブリック・コメントも、期間が二週間と短く唐突な提案です。期間を十分に取って議論を深めてください。

#### 意見に対する教育委員会の考え方

意見番号3と同じ考え方です。

#### 石巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針への反映

修正なし